



2019年度の県内の留学生数（人口10万人当たり）は全国で3位でした。

①記事を読んで文中の()の中に数字を入れてください。

.....2019年度に県内で学んだ留学生は人口10万人当たり(316.4)人で、全国(3)位だった。前年度と比べて(0.6)人・(0.2)%減り、(3)年連続の(2)位から順位を下げた。

②大分県が全国順位を下げた背景にはどんなことがあると考えられますか？

.....国際化が進む中、各都道府県とも受け入れに力を注いでいることが背景にあると考えられる。

③19年度の県内の留学生の出身国のうち、人数が多い国の上位3カ国と、それぞれの学生数を書いてください。

.....中国(769人)、韓国(703人)、インドネシア(413人)

④人口10万人当たりの留学生が全国で最も多かったのはどこですか？また、その学生数は？

.....京都府で423.6人

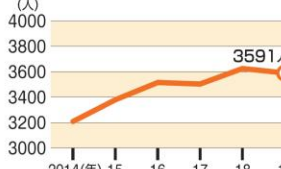
⑤留学生が増えると大分県にとってどんないいことがあると思いますか？あなたの考えを書いてみよう。

.....地域活性化の優れた担い手になってもらえる、母国と大分の懸け橋になってもらえる、地域の国際化が進む一など。



立命館アジア太平洋大の秋の入学式。2019年度、大分県は人口10万人当たりの留学生数が全国3位だった。昨年9月、別府市

県内の外国人留学生の総数



日本学生支援機構が公表した外国人留学生在籍状況(19年5月1日時点)に基づき、県が大学、大学院、短大、高等専門学校を対象に集計した。県内は93カ国・地域の3591人、前年度から35人減った。出身国の上位は▽中国

人口10万人当たりの留学生数

順位	都道府県	人数	前年度比増減
1	京都府	423.6人	14.7%
2	東京都	318.6人	7.9%
3	大分県	316.4人	▲0.2%
4	群馬県	257.6人	▲14.7%
5	福岡県	177.2人	4.1%

※数値は2019年5月1日時点。▲はマイナス

大分県は人口10万人当たりの留学生数が2009、13年度と15年度に1位だった。14年度は2位、19年度は4位が群馬県、5位が福岡県、6位が山口県、7位が茨城県、8位が千葉県、9位が岡山県、10位が長崎県の順。

(山口真由)

県内19年度

留学生数減3位に

10万人当たり316人

2019年度に県内で学んだ留学生は人口10万人当たり316.4人で、全国3位だった。前年度と比べて0.6人(0.2%)減り、3年連続の2位から順位を下げた。国際化が進む中、各都道府県とも受け入れに力を注いでいることが背景にある。日本人と異なる視点や行動力を持つ留学生は、地域活性化の担い手としても期待される。県は「増加に向け大分の魅力をPRしていく」という。

国内の総数は14万6041人で、8051人増えた。同機構によると、留学生30万人計画などで受け入れ

国内の総数は14万6041人で、8051人増えた。同機構によると、留学生30万人計画などで受け入れ

国内の総数は14万6041人で、8051人増えた。同機構によると、留学生30万人計画などで受け入れ

769人▽韓国 703人▽インドネシア 413人▽ベトナム 395人▽タイ 259人。前年度と顔触れは変わらず、韓国とインドネシアは増え、中国とベトナム、タイは減った。大学別では立命館アジア太平洋大(別府市)が108人減の2759人で全国5位だった。

大分では学んだ留学生はそのまま県内就職したり、母国で大分との懸け橋になったりもしている。県は県内留学を希望する外国人学生を増やすため、留学生に大分生活の動画やレポートをSNS(会員制交流サイト)で発信してもらう。新規事業などに取り組む。

新型コロナウイルスの影響で本年度の留学生は減る見込みだが、県国際政策課は「安心して学べる環境を整えることに加え、留学生の生の声を生かして大分で学ぶ魅力を伝えていく」と話している。